

視察報告書

平成29年 4月11日

府中市議会議長 様

会 派 名 市民クラブ

日 時	平成28年10月24日 (月曜日)
視 察 先	福岡県篠栗町
視察項目	循環型社会推進・ゴミ処理等について
参 加 者	小川敏男 水田豊 土井基司
視察内容	<p>篠栗町バイオマス活用推進計画を策定し、循環型社会の実現を目指しているという説明を受けた。九州大学演習林跡地の産業団地に食品工場を誘致し、そこから排出された生ごみのバイオマス活用が大きな柱となっている。</p> <p>また、説明を受けた「クリーンパークわかすぎ」は、温浴施設などに、木材チップを活用したボイラーを使用していた。将来的には、市内で発生する廃材等を活用する予定だが、現状は、間伐材等のチップを県外から搬入しているということだった。</p>
所 感	<p>篠栗町は、RDFによる大牟田リサイクル発電に参加しており、RDFから撤退し単独焼却方式を目指す府中市の参考にしたいと考え、質問項目に挙げたが、検討中ということで、詳しいお話が聞けず残念だった。どこの自治体もゴミ処理に苦慮していると感じた。</p> <p>クリーンパーク敷地内には、資源回収専用ストックヤードが設置されていたが、時間内であればいつでも持ち込み可で、市内に数か所設定されているようだ。資源ごみ回収の頻度を上げてほしいという声はよく聞くので、府中市でも導入を検討したらどうだろうか。</p>

視察報告書

平成29年 4月11日

府中市議会議長 様

会 派 名 市民クラブ

日 時	平成28年10月25日 (火曜日)
視 察 先	長崎県壱岐市
視察項目	議会でのタブレット活用について
参 加 者	小川敏男 水田豊 土井基司
視察内容	<p>タブレット端末導入に向けてのとりくみの経過を伺った。まず、複数の議員から、タブレット利用について要望が出され、議会で任意に話し合うことになり、平成27年1月30日、議会内にICT導入検討委員会を立ち上げた。コスト、導入効果、使用基準など、5回の話し合いの結果を同年4月17日、議会運営委員会に報告して、早期の導入の実現を求めた。報告を受け導入を議会として決定し、同年6月30日にICT推進特別委員会を設けて、具体的な検討、研修・視察を行ない、12月議会から試験的な運用を始めた。平成28年6月議会では、ペーパーレス化90%以上、議案書等の紙による配付廃止、加除式例規集の議員への貸与廃止、会議通知・事務連絡の郵送廃止などの目標を実現した。タブレット導入を提起した議員自らが、熱心に説明していただいた。</p> <p>ただし、タブレット内の共有データを、各議員が加工したり、印刷することが出来ず、印刷が必要な場合は、議会事務局に依頼しなければならないなど、利用制限の解消が課題ということであった。そのため、導入の目的の一つであった、市政報告会等でのパワーポイントへの利用ができていない。因みに通信料は、公費負担。</p>
所 感	<p>議員主導でスピード感を持って、取り組んだことがよく理解できた。府中市議会での導入にあたっては、通信料の一部個人負担が検討されているが、そうであれば、活用が推進されるよう、利用制限を極力かけないような使用規定を検討する必要があると感じた。</p>